

## 令和4年度 不動産鑑定士 論文式試験

ズバリの中

## 会計学

## 問題1 (50点)

次の文章は、のれんの会計処理方法について述べたものである。以下の各問に答えなさい。

・・・(略)・・・

- (1) 文中の空欄〔ア〕から〔オ〕までに入る適切な語句を答えなさい。
- (2) 下線部の「効果の及ぶ期間」について、企業会計基準では最長何年以内と想定されているか答えなさい。
- (3) のれんとはどのようなものか、また、それが貸借対照表に計上される根拠について答えなさい。
- (4) 負ののれんとはどのようなものか、また、それが発生する原因について簡潔に答えなさい。
- (5) 買入れによるのれんが貸借対照表への計上を認められる一方で、自己創設によるのれんの計上認められない理由について簡潔に答えなさい。



## 2022 論文中答練 第2回 問題1

無形固定資産について、次の各問に答えなさい。

- (3) 法律上の権利に関する無形固定資産の償却について説明しなさい。  
・・・(略)・・・
- (5) のれんについて、自己創設ののれんの計上は制度上容認されていないが、その根拠について説明しなさい。
- (6) 負ののれんについて、損益計算書上、どこに計上されるか簡単に答えなさい。

## 2022 必修論点総ざらい講座 問題12

のれんに関する以下の各問に答えなさい。

- (1) のれんの意義を示したうえで、のれんがどのような場合に生じるのか具体的に説明しなさい。
- (2) のれんの会計処理方法としては、その効果の及ぶ期間にわたり「規則的な償却を行う」方法(Aの方法)と、「規則的な償却を行わず、のれんの価値が損なわれた時に減損処理を行う」方法(Bの方法)が考えられる。これらの方法の論拠を示したうえで、現行制度上の取扱いについて述べなさい。
- (3) 現行制度上、自己創設したのれんの資産計上は認められていない。その理由について説明しなさい。

**問題2** (50点)

次の文章は、企業会計基準第10号「金融商品に関する会計基準」からの抜粋である。これに関連して、以下の各問に答えなさい。

・・・(略)・・・

(2) 売買目的有価証券とその他の有価証券はいずれも時価評価されるが、時価評価差額の処理は異なる。これに関して、次の問に答えなさい。

- ① いずれも時価評価される根拠について、説明しなさい。
- ② その他の有価証券については、**〔オ〕**のみが採用されるが、売買目的有価証券には他の方法も採用できる。その会計処理の相違について、説明しなさい。
- ③ 時価評価差額の処理が異なる理由について、説明しなさい。
- ④ その他の有価証券の評価差額について、時価が取得原価を下回る銘柄に係る評価差額を当期の損失として処理する方法も認められているが、その理由を簡潔に説明しなさい。

**2022 分野別過去問解析+α答練 第6回**

『金融商品に関する会計基準』に基づき、次の各問に答えなさい。

- (1) 売買目的有価証券の期末評価方法とその根拠、評価差額の取扱いについて説明しなさい。
- (2) 満期保有目的の有価証券の期末評価方法とその根拠について説明しなさい。
- (3) その他の有価証券の期末評価方法とその根拠、評価差額の取扱いについて説明しなさい。

**2022 論文実戦答練 第2回 第2問**

・・・(略)・・・

- (4) 「金融商品に関する会計基準」に基づく有価証券の分類において、上記の(1)と基本的に同様の会計処理が適用されるものを指摘し、その理由について説明しなさい。
- (5) 満期保有目的の債券、子会社株式及び関連会社株式並びにその他の有価証券のうち時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品以外のものについて時価が著しく下落したときの期末の貸借対照表価額の算定方法について説明しなさい。